# 通奏する気配

岩井春華
林亮太
フォルマント兄弟

Resonant Undercurrents

2026
11.13
［金］
／
2027
1.11
［月・祝］

［会場］
アートラボあいち
Art Lab Aichi

開館時間｜11:00 – 19:00
開館日｜水曜 – 日曜・祝日
休館日｜月曜・火曜、11/25、12/28 – 1/5

［関連イベント］
出品作家によるアーティストトーク
11月28日（土）13:30〜

［主催］
名古屋学芸大学
国際芸術祭「あいち」組織委員会

［助成］
文化庁

観覧無料

林亮太《脱空間演習》2026

岩井春華《The apple of one's eye》2021

林亮太《赤い繭》2024

# 通奏する気配

## Resonant Undercurrents

『通奏する気配 / Resonant Undercurrents』は、名古屋学芸大学 メディア造形学部 映像メディア学科の卒業生と教員による作品展です。映像、サウンド、メディアアート、インスタレーションなど、多様な表現手法による作品を展示します。

時代を覆う空気、絶え間なく流れる情報、夢や無意識のなかに立ち現れる像。私たちは、目には見えないさまざまなものに影響され、ときに共鳴しながら現実を捉えています。それらは個々に独立して存在するのではなく、過去から現在へ、現実から虚構へ、外部から私たちの内面へと連なりながら、知覚や意識のあり方に作用し続けています。

本展では、それぞれの作家が、社会やメディア環境、あるいは意識の奥底を通奏するものに耳を澄まし、それぞれの方法によって、そこに潜む気配を探ります。

フォルマント兄弟《フレディの墓／インターナショナル》2009

### 岩井春華 / IWAI Haruka

名古屋学芸大学 メディア造形学部 映像メディア学科卒業、京都市立芸術大学大学院 美術研究科 絵画専攻 構想設計修了。「夢の既視感」を主題とし、一定の動きを繰り返す装置や映像を用いたインスタレーション作品を制作している。近年の主な発表として、森のアート展「喉元を過ぎれば」（豊田市民芸の森 / 2026）、「生々流転 」（梅田スカイビル / 2026）、「とよたまちなか芸術祭2025stereo」（豊田市くらしの発見館 / 2025）などがある。

### 林亮太 / HAYASHI Ryota

名古屋学芸大学 メディア造形学部 映像メディア学科卒業、名古屋学芸大学大学院 メディア造形研究科修了。スマホやSNSなど日常に遍在するメディアの技術的特性を制作実践を通して分析し、それらと接続することで変容する主体のあり方を考える。近年の主な発表として、「前橋映像祭2026」（裏ノ間 / 2026）、「林 亮 太 ／ 大 澤 一 太 ／ 大 越 円 香 MEDIA EXHIBITION」（PHOTO GALLERY FLOW NAGOYA / 2024）などがある。

### フォルマント兄弟 / The Formant Brothers

兄・三輪眞弘（作曲家／京都芸術大学文明哲学研究所）と弟・佐近田展康（メディアアーティスト／名古屋学芸大学）が2000年に結成した作曲・思索のユニット。テクノロジーと芸術の今日的問題を〈声〉を機軸にしながら哲学的、美学的、音楽的、技術的に探求し、21世紀の〈歌〉を機械に歌わせることを目指す。主な作品として《兄弟deピザ注文》（2003）、《フレディの墓／インターナショナル》（2009, Prix ArsElectronica 2009入賞）、《NEO都々逸｜六篇》（2009）、《夢のワルツ》（2012）などがある。

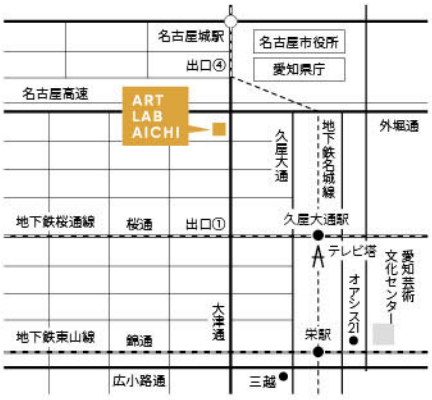
アートラボあいち

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4-13
愛知県庁大津橋分室2階・3階
休館日｜月曜日、火曜日、年末年始
（祝日開館、翌営業日が休館）
時　間｜11:00 - 19:00
TEL & FAX｜052 - 961 - 6633
E-mail｜ala@aichitriennale.jp

［展覧会に関する問い合わせ］
名古屋学芸大学 メディア造形学部事務室
TEL｜0561-75-2955

［運営］国際芸術祭「あいち」組織委員会

アートラボあいち HP
https://aichitriennale.jp/ala/




［アクセス］
地下鉄名城線「名古屋城」駅4番出口から徒歩5分
地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」駅1番出口から徒歩8分

nuas 名古屋学芸大学　ART LAB AICHI

文化庁
令和8年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業